

第8回 HALS グループミーティングを終えて

この度は、皆様のご協力のおかげで無事に第8回 HALS グループミーティングを開催することができました。台風が近づき悪天候が懸念される中、お集まりいただいた先生方・スタッフの方々に心から感謝いたします。

本会は HALS の研究会ですが、片手を体腔内に入れて内視鏡手術を行うという点では全く同じコンセプトの HATS Hand Assisted Thoracoscopic Surgery を以前から施行していたご縁で今回の世話人を務めさせて頂きました。HATS の演題は多くは有りませんでしたが、ショートレクチャーもさせて頂き Hand Assist のコンセプトを広げるのに少しは役立てたのではないかと考えています。

今回の研究会のテーマは「HALS/HATS のここが好き、これが問題」、要望演題はテーマに関連させて「HALS/HATS の一工夫」、「HALS/HATS の長所と短所（長所の利用・応用、短所の克服）」とさせて頂きました。各施設・領域独自の工夫や応用・欠点克服のお話が伺え、自施設・自領域に持ち帰り応用できるものが多くあったと感じました。施設・個人間の意見交換の場、議論の場として大いに役立ったと思っております。

ハンズオンセミナーは今回が初めての試みでした。私も最初から最後まで立ち合いさせて頂きましたが、若手の先生にはすごく良い勉強になっただろうなという印象でした。第9回以降も可能であれば続けて頂くことを強くお勧めしたいと思います。

悪天候の中お集まりいただいた先生方・コメディカルの方々に改めて感謝申し上げます。また研究会開催に際して資金面でご協力をいただいた協賛企業各位、会の運営に直接携わっていただいたジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、コヴィディエン・ジャパン株式会社、アプライドメディカル株式会社、そして研究会のほぼ全てをマネジメントして頂いた事務局の木島さんには、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

2017年10月28日

第8回 HALS グループミーティング当番世話人
帝京大学医学部附属溝口病院 外科 藤野昇三

第8回 HALS グループミーティング開催風景





